



報道等でご存じの方もいらっしゃると思いますが、平成28年度(現2年生が受験)から大阪府立高等学校の入試制度が大きく変わります。詳細は未定で、今後変更になることも考えられますが、現時点で大阪府教育委員会が発表したことをお知らせします。

## 1. 選抜が一部の専門学科を除き一本化

これまでは、前期選抜(主に専門学科)と後期選抜(主に普通科)の2回実施されていました。平成25年度からは、全日制普通科(単位制を除く)とクリエイティブスクールは前期と後期の2回実施されていました。

平成28年度からは、実技検査が課せられる体育科、芸能文化科、音楽科、総合造形科とエンパワメントスクール(後述)のみ特別選抜として2月中～下旬のみ実施され、他の専門学科、総合学科、普通科と定時制、通信制の高校は一般選抜として3月初～中旬のみ実施されます。

従って「前期に専門学科に挑戦し、不合格なら後期の普通科を受験する」といったことができなくなります。

## 2. 第1志望、第2志望

これまでは同一校に複数の専門学科がある場合のみ第2志望をすることができましたが、平成28年度からは普通科も含めて同一校に複数の学科がある場合に第2志望をすることができるようになります。

また、これまではその学科の合格者が募集定員に満たなかったときのみ第2志望から合格させていましたが、平成28年度からは、志望学科に関わらず総合点の高い者から順に並べて志望順位に従って上位から合格させます。つまり、第1志望の学科で不合格だった者が第2志望の学科で合格し、その学科で総合点の低い第1志望の者が不合格になることもあるということです。(私学の回し合格と同じ)

## 3. 学力検査・評定

(1) 学力検査：これまでは前期が3教科後期が5教科でした。前期は学科の特質に合わせて教科ごとの配点が異なりました。平成28年度からは全学科5教科で同じ配点になります。

(2) 評定：これまでは10点満点の「人数に準拠した評価(相対評価)」で、各中学校内でのそれぞれの評定がつく人数の割合が定められていました。平成28年度からは5点満点の「目標に準拠した評価(絶対評価)」になり、それぞれの評定がつく人数の割合が中学校によって異なることになります。

また、学力検査のある教科と無い教科とでは掛ける倍率が異なりましたが、平成28年度からはすべての教科が同じ倍率になります。

調査書には、これまでは3年の評定のみ記載していましたが、平成28年度からは3ヶ年すべての評定を記載します。ただし経過措置として、現2年生は3年次のみの評定を、現1年生は2年次と3年次の評定を記載します。判定の資料となる割合は、3年:2年:1年=3:1:1となります。

(3) 自己申告書：これまでは、面接のある学科のみ必要でしたが、平成28年度からは、すべての学科で必要となります。これはボーダーゾーン内での判定の資料となります。

(4) 学力検査と評定の割合：これまでは後期選抜で、検査と評定の割合を6:4, 5:5, 4:6のなかから高校が選択していましたが、平成28年度からはすべての学科で7:3, 6:4, 5:5, 4:6, 3:7の中から高校が選択します。

(5) ボーダーゾーン：エンパワメントスクール以外のすべての学科で、ボーダーゾーンの幅は90%~110%となります。これまでは多くの高校が学力検査や評定を判定資料としていましたが、平成28年度からはすべての高校で、自己申告書と調査書の「活動/行動の記録(総合所見)」を判定資料とし、各高校の「求める生徒像」に合致した者から合格させます。

## 4. エンパワメントスクール

(1) 内容：学科は「総合学科」となります。学習状況に「つまずき」がみられる生徒を対象に、少人数授業でプリント等を使った個々に合わせた授業でつまずいたところから学び直させ、学力を充実させます。社会性を身につけさせ、社会で生き抜く力を養います。

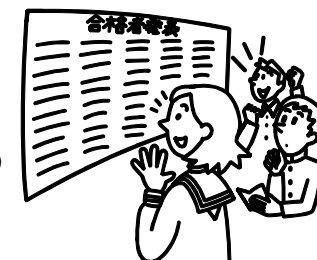
(2) 選抜方法：学ぶ意欲が重視されます。

第1手段として、学力検査で一定の基準(かなり低い基準)に達した生徒に対し、面接、自己申告書、調査書の「活動/行動の記録(総合所見)」を資料として合格者を決定します。その割合は2:1:1となります。評価基準は学ぼうとする意欲と、自分の将来への展望です。この手順で募集人数の最大50%まで合格させます。

第2手段として、学力検査と評定の総合点により募集人数に達するまで合格させます。ボーダーゾーンは設定されません。

## 5. 普通科総合選択制の改編

「普通科総合選択制」は段階的に「総合学科」か「普通科の専門コース制」のどちらかに改編されます。



詳細についてはまだ決定されていません。またここに書かれた内容も変更になるかもしれません。大阪市立の高等学校については何も発表されていません。